

Château BADETTE

GRAND CRU CLASSÉ
SAINT EMILION GRAND CRU



Famille Vandenbogaerde

ヴィンヤード



土壌

石灰粘土質, 砂の多い粘土,
砂・粘土



垣根栽培

機械式



性フェロモン作用の利
用



平均密度

7,000 株 /ha



平均齢

25 年

特長

葡萄品種: メルロ 67%、カベルネ・フラン 28%、プティ・ヴェルド 5%。

私たちの実践: 除草剤不使用、合理的農業、緑肥と永続的な草の被覆、葉の間引き、グリーン・ハーヴェスト。

収穫



籠を使った手摘み

果実の選別: 糖度計, 手動

特長

500 リットルの樽と小さなステンレス・タンクで区画ごとに醸造。45 日間の 醗酵後、低温マセラシオン。

総生産量: 40,000 60,000 本。

栽培品種:

- Château Badette
- La Fleur de Badette
- Le Grand Monsieur Badette



物件のご紹介



アペラシオン

Saint-Émilion Grand Cru



エリア

10 ha



私たちの価値観

High Environmental Value (HVE)



クルー

M. Arnaud Vandenbogaerde

所有者

M. Jean Philippe Fort

ワイン醸造技術者

M. Mathieu Richard

テクニカル・ディレクター

アペラシオン

Saint-Émilion Grand Cru

アサンブラージュ

Merlot : 80 %
Cabernet franc : 15 %
Petit Verdot : 5 %

当社の樽熟成

67 %新樽、33 %1年樽

収量: 45 hl/ha

生産量: 20 400 本

技術データ

アルコール含有量: 15 %
ピーエッチ: 3.54
全酸性: 3.92 g/L

テイastingノート

香りにはトーストのニュアンスがあり、繊細な豊かさ、力強さ、フレッシュさ、そしてエレガンスと明確なアロマ表現を備えています。フレッシュから完熟のブラックチェリー、スマイル、小さなフレッシュフルーツの香りに、赤い小果実のニュアンス、さらにリコリスやスターアニス、やや酸味のあるブラックベリータッチが加わり、全体をほのかなナツメグのニュアンスが支えています。口当たりはフレッシュで気品があり、ミネラル感と美しい張り、適度な力強さ、そして酸の骨格を備えています。味わいにはジューシーでフレッシュなブラックベリー、フレッシュでやや酸味のある黒系果実、そしてわずかにユリのニュアンスが現れ、スターアニス、ラズベリー、ピガロー種のチェリー、リコリスのタッチ、さらに軽いグリル香やトースト香が重なります。余韻は長く、タンニンは見事にコントロールされておりエレガントです。

☁️ 気象データ

2019年のヴィンテージは、対照的な気候条件に見舞われながらも、全体としてボルドーにとって好ましい年となりました。春は涼しく湿度が高く、一部の地域では開花に影響を与えましたが、夏は暑く乾燥し、日照に恵まれたため、ブドウはゆっくりとバランス良く完全に成熟しました。収穫は9月中旬から10月初旬にかけて行われ、非常に良好な条件のもとで進みました。メルローは表現力豊かで凝縮感があり、なめらかで、美しいフェノール成熟を示しています。カベルネは完璧な衛生状態で収穫され、輝く果実味、きめ細かなタンニン、そしてしっかりとした構造を備えています。このヴィンテージのスタイルは、フレッシュさ、バランス、そしてアロマの強さを兼ね備えています。赤ワインは豊かで調和が取れており、優れた熟成の可能性を秘めています。



評価点： **94-96** **JEB DUNNUCK**

私はこのシャトーを引き続き高く評価しており、その2019年もまた素晴らしい一本です。ブレンドはメルロー85%、カベルネ・フラン10%、プティ・ヴェルド5%。深い紫色を帯びた色調と、カシスクリーム、エレガントな樽香、チョコレート、スマレが調和したモダンなスタイルのブーケが特徴です。豊かで力強く、フルボディで完璧なバランスを備えています。ぜひケースで購入する価値があり、2016年と同じ系譜に連なる出来栄です。

93-94 **JAMESSUCKLING.COM**

このキュヴェは非常に明るく、完璧に仕上げられており、極めてきめ細かなタンニンと見事な果実の奥行きを備えています。コンパクトで直線的。美しい一本です。

92-94 **vinous**

シャトー・バデット2019はまさに力強い一本です。ブラックベリーのコンフィチュール、ビターチョコレート、柔らかなフレンチオーク、リコリス、クローブが重なり合い、このヴィンテージにその奔放な個性にふさわしい深みの層を与えています。豊かで華やか、そして壮麗なこのワインは、非常に寛大で力強いスタイルを好む愛好家を魅了するでしょう。2019年は明確にモダンでなめらかなスタイルながら、完璧なバランスを備えています。部分的な樽発酵、長いマセラシオン、そして新樽50%の熟成が見事に調和しています。

92-94 **THE WINE CELLAR INSIDER**

ほとんどインクのような濃い色合いで、まずトーストした樽香が感じられ、その後スパイス、濃い赤色の核果、リコリス、そして木のニュアンスが広がります。フルボディで肉厚、華やかで寛大、そして贅沢な味わい。フィニッシュでは熟した果実の層が豊かに広がり、力強く深みのあるタンニンが余韻を締めくくります。

93 **VertdeVin**

香りはフルーティーで、よく構成されており、美しい強さと豊かなニュアンスを備えています。輝きのあるカシス、紫色のプラム、小さな黒系ベリーのニュアンスに加え、つぶしたイチゴの繊細な香り、さらに柑橘の皮、甘いタバコ、ナツメグ、甘いスパイスのほのかなニュアンスが感じられます。味わいは果実味豊かでバランスが良く、明確な輪郭とともに、親しみやすさ、なめらかさ、丸み、そして上品さを備えています。口中では、果肉感のあるジューシーなブラックベリーやカシスの風味に、わずかな紫プラムのニュアンスが加わり、さらにスマレ、つぶしたラズベリー、そしてカカオ、カンファー、キャラメル化、トーストの繊細なニュアンスが感じられます。余韻は良好で持続性があります。タンニンはしっかりとした構造を備えています。

